

取扱説明書

本体の使い方

PZ-720F



Regeo

本機が使用できるのは日本国内のみで
海外では使用できません。

目次

■はじめに

商品構成一覧	2
主な特徴	3
安全上のご注意	4
各部の名称および機能	13
miniB-CASカードをセットする	15
吸着式スタンドの取付け方法	16
吸着式スタンド用補助トレーの使い方	17
脱落防止ストラップの使い方	18
電源のオン/オフ	19

■主な機能

メインメニュー画面	20
ナビゲーション	21
テレビ	22
ビデオ	26
オーディオ	28
フォト	30
AV IN	32
設定	33
リアカメラ(後方カメラ)	36

■必要な場合に

故障かなと思ったら	37
製品仕様	38

※本取扱説明書内で使用している画面などの写真やイラストは、プログラムの更新や変更により、製品と若干異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

商品構成一覽

ナビゲーション本体1台		吸着式スタンド1個/スパーサー1個 スタンド用補助トレイ1個	
			
シガー電源アダプター1個	miniB-CASカード1枚	ナビゲーション機能使用説明書1部/ 本体取扱説明書1部/保証書1部	
 コード長：約1.8m			
脱落防止ストラップ			
			

別売品（本製品には付属していません。）

フィルムアンテナ	リアカメラ接続ケーブル1本	AV入力RCA接続ケーブル1本
フィルムアンテナ(左右 各1枚) アンプ付きアンテナケーブル2本 ケーブル長さ：約2.9m	 コード長：約2.0m	 コード長：約1.5m

- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。
- 本書内の製品写真・姿図・イラストは、実際と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

主な特長

■ スマートなフルセグメモリーナビゲーション

- ・スリムでシンプル&スマートなスタイリッシュデザインを実現しました。
- ・高解像度(800×480ドット)液晶画面採用。
地図が鮮明で、地図上の文字も綺麗で読みやすくなっています。

■ ナビゲーション機能

- ・タッチパネルで簡単に操作ができます。
- ・3Dアイコン(※)により建物形状が確認しやすく、簡単に探し出せます。
- ・複数ルートの検索が可能で、おすすめ・有料優先・一般優先・距離優先ルートなどを案内します。
- ・駅名・周辺の建物からの検索、住所からの検索できます。
- ・道路の種類別にルート色を区分し、クイックスタートおよび自宅までの道を案内します。

※3Dアイコンは、平面地図上に立体的な絵で有名な建物などが登録されています。

■ ワンセグ/フルセグ機能（自動切替え機能付）

- ・ワンセグ/フルセグ放送がお楽しみいただけます。
- ・アンテナバー表示で受信状態がわかります。
- ・EPG(電子番組表)対応。画面内で番組確認ができます。

■ マルチメディア機能

- ・Dual-Core CPU搭載。マルチメディア性能を強化しました。
- ・ナビゲーション案内と音楽再生が同時にお楽しみいただけます。
- ・動画の再生ができます。
MPEG4(DivX, Xvid)・H.264・MPEG1/2
- ・音楽 MP2/3・WAV・AAC+
フォト JPG, PNG, BMP, GIF
- ・microSDカードスロット搭載で、microSDカード内の写真・動画・音楽の再生が可能。(microSD/microSDHC 128GBまで対応)

■ PIP機能

- ・画面左側でナビゲーション、画面右側でテレビ・ビデオ・オーディオ画面と分割でき、便利に使用できます。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、以下のように説明しています。

また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ◆表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次のマーク表示で区分し、説明しています。

 警告	このマーク表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	このマーク表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- ◆お守りいただく内容の種類を、次のマーク表示で区分し、説明しています。

	このマーク表示は、してはいけない「禁止」内容のものです。
	このマーク表示は、必ず実行していただく「強制」内容のものです。

警告

配線・取付けに関する警告事項



運転者の視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取付けない

運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への設置は、交通事故やけがの原因となります。



エアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取付け・配線しない

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機器や部品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。自動車メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。



取付け・配線に保安部品は絶対に使用しない

保安部品（ステアリング、ブレーキ系統やタンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因となります。



アクセサリソケット（シガーライターソケット）から複数の電源をとらない

アクセサリソケット（シガーライターソケット）に複数の機器を接続すると、車両の定格を超えることがあり、火災や故障、車両側ヒューズの断線などの原因となります。



ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。
万一飲み込んだと思われるときは、直ぐに医師にご相談ください。



シガー電源アダプターのプラグは奥まで確実に差込む

差込みが不完全な場合、発熱して発火の原因となります。



DC12V/24Vのマイナスアース車で使用する

DC12V/24Vのマイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用できません。火災や故障の原因となります。



アクセサリソケット（シガーライターソケット）は定期的に点検・掃除する

アクセサリソケット（シガーライターソケット）の中にタバコの灰などの異物が入ると、接触不良により、発熱し発火の原因となります。



コード類は運転や乗り降りの妨げにならないように配線する

ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルや足などに巻付かないように配線し、まとめてしっかりと固定しておくなどしてください。
事故やけがの原因となります。

ご使用に関する警告事項



車両以外には使用しない

船舶・航空機・自転車・バイクなどに使用しないでください。
事故やけがの原因となります。



運転者は走行中に操作したり画面を注視しない

走行中の操作や画面を注視することは、前方不注意による交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車させてからサイドブレーキを引いた状態で操作をしてください。



故障や異常のある状態では使用しない

万一故障（画像が出ない、音が出ないなど）や異常（異物が入り込んだ、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店またはサポートセンターにご連絡ください。

そのまま使用を続けると、火災や感電、事故の原因となります。

**水のかかるところやほこりの多い場所では使用しない**

本機器は防水・防塵仕様ではありません。
火災や発煙・発火、感電、故障の原因となります。

**本機器を分解・修理および改造しない（廃棄時は除く）**

分解・修理・改造や、コードの被覆を切って他の機器の電源をとったりすることは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因となります。
また、本機器はメモリーバックアップ用の充電式の電池が入っていますが、電池交換はできませんのでご了承ください。

**本機器の内部に水や異物を入れない**

内部に飲み物等がかからないようにご注意ください。
また、金属類や燃えやすいものが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良が発生し、火災や発煙・発火、感電の原因となります。

**シガー電源アダプターのプラグに見ずなどをかけない**

シガー電源アダプターのプラグに水がかかるとショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火・感電の原因となります。
また、飲み物などがかからないようにご注意ください。

**microSDカードは乳幼児の手の届くところに置かない**

乳幼児が誤って飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

**大音量で使用しない**

車外の音が聞こえない状態での運転は交通事故の原因となります。



運転中はヘッドフォンを使用しない

交通事故の原因となります。



必ず規定容量のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因となります。



実際の交通規制に従って走行する

ルート案内中でも必ず、道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。交通事故やけがの原因となります。



航空機内や病院など、高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは電源を切る

電子機器や医療用電気機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

- ・心臓ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
- ・心臓ペースメーカー、その他の医療用電気機器をご使用される方は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について、必ずご確認ください。

※シガー電源アダプターについて

- ・付属のシガー電源アダプターは車のシガーソケットに直接接続してご使用ください。シガーソケットを分岐させたアダプターを使用すると、電力不足し、誤動作の原因となる場合があります。
- ・長時間本機を使用しない場合、シガー電源アダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

⚠ 注意

配線・取付けに関する注意事項



振動の多い場所や不安定な場所に取付けない

傾いた場所や強い曲面などに取付けると、走行中にはずれたり落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。



水がかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取付けない

雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。



高温になる場所などには取付けない

直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。



コードを破損しない

傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重い物を置く、熱器具へ近づける、高温なところに接触させるなどはしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

- ・車体やネジ・シートレールなどの可動部に挟まないように引回してください。
- ・ドライバーなどの先端で押込まないでください。



必ず付属品や指定部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

❗	<p>はずれたり落下しないように確実に取付ける</p> <p>取付ける場所の汚れやワックスなどをきれいに拭取り、吸着式スタンドで確実に固定してください。</p> <p>吸着式スタンドを確実に密着させて固定しなければ吸着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因となります。</p> <p>特に高温になった時に、吸着式スタンドと吸着面の間の空気が膨張して吸着が弱くなることがありますので、定期的に吸着状態の確認をしてください。</p>
---	--

ご使用に関する注意事項

⊘	<p>雷が鳴り始めたらアンテナやプラグに触らない</p> <p>落雷による感電のおそれがあります。</p>
---	--

⊘	<p>強い衝撃を与えない</p> <p>落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。</p>
---	---

⊘	<p>テレビ用ロッドアンテナに目や顔を近づけない</p> <p>アンテナの先に接触し、事故やけがの原因となります。</p>
---	--

❗	<p>使用後は、直射日光の当たらない場所に保管する</p> <p>直射日光が当たるなど、高温になる場所に放置すると本製品の故障や変形の原因となります。</p>
---	--

❗	<p>ナビゲーション本体とスタンドの温度を確認してから脱着する</p> <p>高温の場所に放置（直射日光などに長時間さらされた場合）したり、長時間続けて使用した場合などは、本体背面の金属レール部やスタンドなどが高温になり、やけどをする可能性があります。</p>
---	---



定められた温度範囲外では使用しない

本製品は0℃～50℃の温度範囲内で正常動作するように設計されていますので、必ず正常動作温度範囲内で使用してください。



温度変化に注意する

寒い場所に長時間置いた後、暖かい場所に移動すると結露することがあるため、使用する環境で1時間ほど経過してから使用してください。また、寒い場所で動作させるとディスプレイが見えにくいことがあるので、本体に電源を入れた状態で本体温度が上がってからご使用ください。

本製品に関する注意事項

◆アイドリングストップ車での使用について

アイドリング時にエンジンが停止する車種など、アクセサリソケット（シガーライターソケット）への給電電圧が一時的に降下する場合、本製品の電源が一旦OFFになり、起動画面になる場合があります。

◆GPSを利用した機器の同時使用について

同じ車両に本機を含め、複数のGPSカーナビゲーションやGPSレーダー探知機などを設置しないでください。

本機および他のGPSを利用した機器の誤動作の原因となります。

microSDカードに関する注意事項

市販のmicroSDカードに音楽や動画、フォトファイルを入れて楽しめます。十分にお楽しみいただくため、下記の事項に注意してください。

- microSDカード・microSDHCカード・microSDXCカードのClass10タイプ使用できます。
- 容量は128GBまで認識できます。
- フォーマット方式については、FAT或いはFAT32でフォーマットしたものを使用してください。（2GB以下：FAT、2GB以上：FAT32）
- 一部のmicroSDカード・microSDHCカード・microSDXCカードは認識されなことがありますのでご注意ください。

microSDカードに関する注意事項

- microSDカードを磁石に近づけないでください。データが破損したり、カードを認識できなくなることがあります。
- microSDカードを分解したり、変形させたり、端子を汚したりショートさせるなどしないでください。
- オーディオ/ビデオ/フォトの動作中はmicroSDカードを絶対に取出さないでください。（誤作動が発生したり、microSDカードや本機器を損傷する場合があります。）
- microSDカードを無理な力で挿入しないでください。
- microSDカードを取出すとき、カードが飛び出すことがありますので注意してください。
- microSDカードの種類によっては形状精度に問題があり、そのようなカードを使用すると、本機のカードスロットから抜けなくなる場合があります。
その際は本体電源を必ずオフにしてからピンセットなどを使用してゆっくりと取出し、そのカードは使用しないでください。

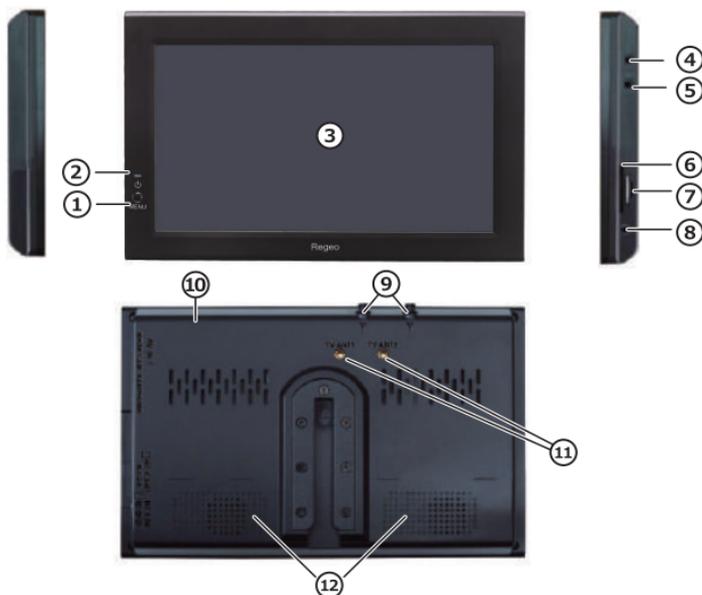
タッチパネル液晶ディスプレイに関する注意事項

本製品はタッチパネル液晶ディスプレイです。

ご使用の際には下記の事項に注意してください。

- 液晶パネルは視聴できる範囲（視野角）があるので、設置する角度に注意してください。
- 傷がつきやすいので、先端の硬いものや鋭利なもの、およびざらつきのあるもので操作しないでください。
- 市販の液晶パネル保護フィルムを使用した場合、正常に動作しない場合があります。
- 液晶ディスプレイを保護するため、本機を使用しないときは直射日光が当たらないようにしてください。
- 直射日光が照りつける場所では視認性が低下することがあるので注意してください。
- 低温になると、映像が出なくなったり、出るのが遅くなったりするなどの現象が生じることがあります。
定められた温度範囲内で使用してください。(0℃~50℃)
- タッチパネルに過度の圧力をかけないでください。
- タッチパネルは感圧式となっており、適度な力が加えられないと認識されないことがあるので注意してください。
- タッチ位置がずれる場合は、タッチパネル補正をおこなってください。
(P.35参照)

各部の名称および機能



①電源／メニューボタン

- ・電源オフ状態で、このボタンを短押しして電源オンになります。
- ・動作中(電源オン状態で)、短押ししてメインメニュー画面(P.20)に遷移します。
- ・動作中(電源オン状態で)、約3秒間長押しで液晶オフになります。
- ・動作中(電源オン状態で)、約8秒間長押しで本体電源オフになります。

②電源ランプ

電源を入れるとランプが点灯します。(青色点灯)

③液晶ディスプレイ

タッチパネル液晶ディスプレイで、必要なときに直接画面にタッチすることで簡単に操作できます。

④AV IN (外部入力) / REAR CAM (リアカメラ) 端子

AV IN端子とREAR CAM端子の共通端子になっている為、接続する機器に応じて設定画面(P.33)より設定してください。

- ・AV IN端子として使用する場合
オプションのAV入力RCA接続ケーブルを使用し、DVDプレイヤー等を接続することにより、外部モニターとしても使用できます。
- ・REAR CAM端子として使用する場合
オプションのリアカメラ接続ケーブルを使用し、お客様の手元にあるリアカメラを接続すると、リアカメラからの映像を画面に映すことができます。

⑤ **EARPHONE (AUDIO OUT端子)**

イヤホンやAUX接続を使用する際に接続する端子です。

⑥ **mini B-CASカードスロット**

付属のmini B-CASカードを挿入するためのスロットです。

⑦ **microSDカードスロット**

市販のmicroSDカードを挿入するためのスロットで、microSDカードに音楽や動画、写真などを保存してご利用できます。

⑧ **外部電源端子**

付属のシガー電源アダプターを接続する端子です。

⑨ **内蔵ロッドアンテナ**

TV放送を受信する場合に、伸ばして使用してください。

⑩ **内蔵GPSアンテナユニット**

GPSアンテナユニットが内蔵されています。

⑪ **TV ANT1/TV ANT2端子**

オプションのアンテナケーブルを接続する端子です。

※この端子を使用した場合は、内蔵ロッドアンテナは機能しない（無効になる）仕様
になっています。 (出力Max 1.3W×2、ステレオ)

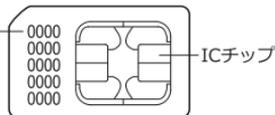
⑫ **スピーカー**

スピーカーが左右に各1個、計2個内蔵されています。

miniB-CASカードをセットする

miniB-CASカードについて

mini B-CASカード番号



※mini B-CASカード番号はmini B-CASカードを管理するための番号です。
お問い合わせの際にも必要になるため、必ずメモしてください。

⚠ 必ずお読みください。

- mini B-CASカード台紙に記載の文面を必ずよくお読みのうえ、挿入してください。
- 使用許諾契約約款をよくお読みください。mini B-CASカードのパッケージを開封すると、使用許諾契約約款に同意したものとみなされます。
- mini B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送を受信することはできません。

■ mini B-CASカード取扱上の注意点

- 折り曲げたり、変形させたり、傷つけたりしないでください。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれた手で触らないでください。
- ICチップ部には手を触れないでください。
- 分解・加工は行わないでください。
- 本製品に付属のmini B-CASカードは地上デジタル放送専用です。
- BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用できません。

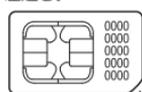
※mini B-CASカードを破損したり、紛失・盗難された場合は、下記カスタマーセンターにお問い合わせください。

(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL:0570-000-250 (詳しくはmini B-CASカード台紙を参照ください。)

■ mini B-CASカードの入れ方

- ① mini B-CASカードを台紙から取外します。
mini B-CASカードのパッケージを開封すると、台紙に記載の使用許諾契約約款に同意したものとみなされるため、開封前に必ずお読みください。

本体裏面のB-CASカード
印字に合わせて、
切欠きがある方向から
差込む。



切欠き



- ② 本体側面のmini B-CASカードスロットにmini B-CASカードを差込みます。
本体裏面のB-CASカード印字に合わせて、切欠きのある方向から「カチッ」と音がするまで奥に差込んでください。

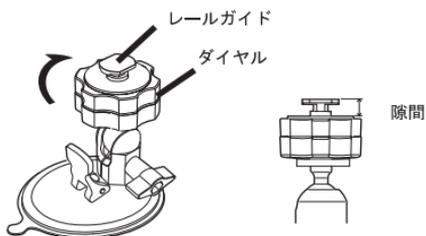
⚠ 必ずお読みください。

- mini B-CASカードを抜き差しする際は必ず電源を切った状態で行ってください。
故障の原因となります。

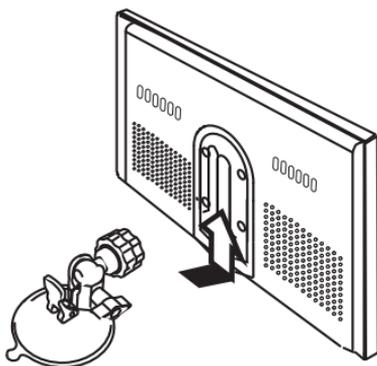
吸着式スタンドの取付け方法

付属品のスタンドを本体に取り付ける。

ダイヤルを矢印の方向に回してレールガイドとの隙間をあけてください。

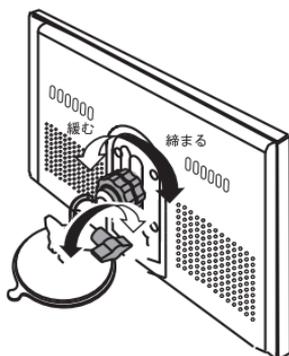


本体背面のスライドレールにレールガイドをスライドさせて入れてください。



本体を手でしっかり押さえて、ダイヤルを締めつけてください。

見やすい位置になるように蝶ネジで角度調整をしてください。

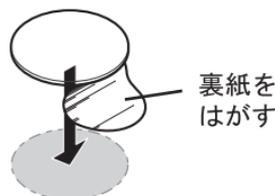


吸着式スタンド用補助トレーの使い方

スタンドの設置部への取り付け

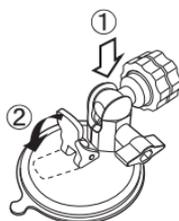
取付シートを張り付ける。

接地面の温度が低いときは、ドライヤーなどで温めてください。



- 貼り直さないでください。粘着力が弱くなります。
- しっかり定着させるため、貼り付け後、約24時間以上経過してからスタンドを取り付けてください。

- ① 上部を強く押す
- ② レバーを下げる



- 車載用吸着式スタンドは、ダッシュボードに取り付けず必ず取付シートの上に取り付けてください。
- 吸着面全体がしっかりと密着していないと、使用中にずれるおそれがあります。
- 吸盤の吸着力でダッシュボードが変形する場合があります。
- ダッシュボードに吸盤の跡が残る場合があります。
- 定期的に(1週間に1度)スタンドの取り付けがゆるんでいないかを確認し、レバーを再度ロックしてください。
- 吸盤の吸着面が汚れたときは、スタンドのお手入れをしてください。

脱落防止ストラップの使い方

脱落防止ストラップを取り付ける

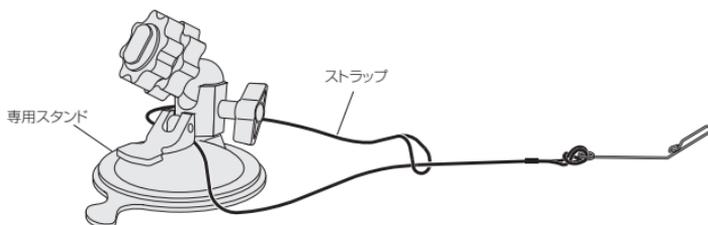
本機を安全にご使用していただくために必ず、本製品が脱落しない様に車両と本体をストラップで繋いでいただき、安全にご使用していただくために、脱落防止をおこなってください。

■フックとストラップ、専用スタンドを車両へ取り付ける

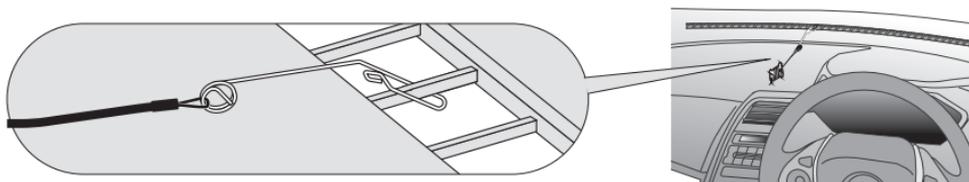
①フックが丸くなっている部分へストラップを通し、結んで取り付ける。



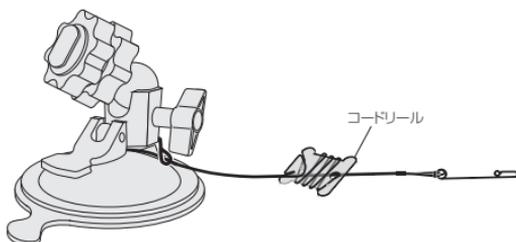
②専用スタンドの隙間にストラップを通し結んで取り付ける。



③フックを車両のデフロスタ(フロント部分の送付口)へ取り付ける。



④スタンドの位置を固定して、余ったストラップをコードリールに巻きつけて緩まないように長さを調整する。

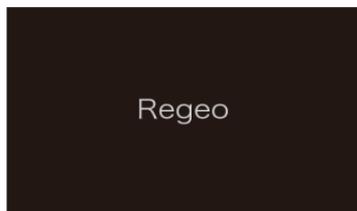


電源のオン/オフ

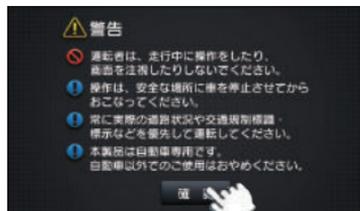
◆電源のオン

本体左側の電源／メニューボタンを1秒以上押し続けて電源を入れます。
(シガー電源アダプターから電力が供給された場合は自動で電源が入ります。)

電源が入ると起動画面の後、ナビゲーショントップの警告画面が表示されます。



起動画面



ナビゲーショントップの警告画面

警告内容を必ずお読みのうえ、確認ボタンをタッチするとナビゲーション画面が起動します。(一定時間何も操作が行われなかった場合は、自動的に起動します。)



ナビゲーション画面

※起動画面については『設定→画面→スタートメニュー』で設定した画面になります。初期設定は『ナビ』になっています。

※ナビゲーションの操作方法については別冊 [ナビゲーションソフトウェア編] をご覧ください。

◆電源のオフ

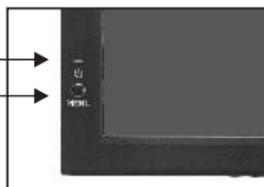
本体左側の電源／メニューボタンを電源ランプが消灯するまで長押ししてください。
(電源ランプが消灯する前に指を離してしまうと、画面は消えても本体の電源は入ったままの状態になっていますのでご注意ください。)

その場合は一度、電源／メニューボタンを押して画面を表示させ、再度電源ランプが消灯するまで電源／メニューボタンを押し続けてください。

(シガー電源アダプターを抜くと電源切れます)

電源ランプ (青色に点灯)

電源／メニューボタン



メインメニュー画面

◆メインメニュー画面

※本体前面の電源/メニューボタンを短く押すことによってメインメニューを表示させることができます。



① microSDカード挿入

・microSDカードが挿入されている場合に白く表示されます。

② スピーカー オン/オフ [ミュート (消音) 機能]

・タッチする毎にスピーカー出力のオン/オフが切替わります。

③ ボリューム調整・表示

・システムの音量を10段階で調整します。



④ ナビ

・地図ソフトを起動し、ナビゲーションを開始します。

⑤ テレビ

・地デジ/ワンセグ放送を開始します。

⑥ ビデオ

・microSDカードに保存されている動画ファイルを再生します。

⑦ オーディオ

・microSDカードに保存されている音楽ファイルを再生します。

⑧ フォト

・microSDカードに保存されている写真ファイルを再生します。

⑨ AV IN

・外部の映像機器から入力される映像/音声を再生します。

⑩ 設定

・本体の各種設定を行います。

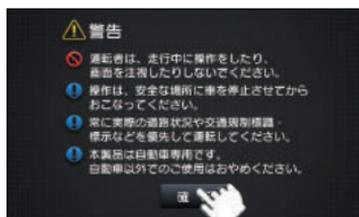
ナビゲーション

◆メイン画面

メインメニュー画面で「ナビ」ボタンをタッチすると、起動画面の後、ナビゲーショントップの警告画面が表示されます。

警告内容を必ずお読みのうえ、確認ボタンをタッチするとナビゲーション画面が起動します。

(一定時間何も動作が行われなかった場合は、自動的に起動します。)



ナビゲーショントップの警告画面



ナビゲーション画面

※工場出荷時は東京駅に設定されていますが、GPS電波を受信すると現在地を表示します。

※ナビゲーションの操作方法については別冊 [ナビゲーション機能操作編] をご覧ください。

警告

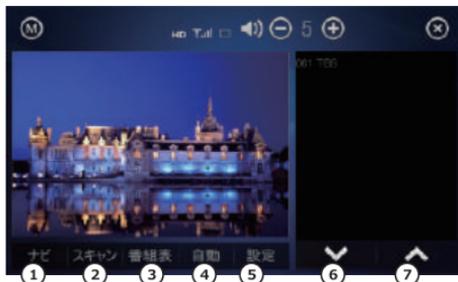
- 運転中は絶対に操作しないでください。
- 本製品は、車の安全装置に支障をきたさない場所に取付けてください。
- 本製品を車に装着する場合は、エアバックなどの安全装置に支障をきたす場所に取付けて運転者・同乗者に被害が発生した場合は、装着者の責任となります。

テレビ

- テレビ放送を視聴するときは、内蔵のロッドアンテナを伸ばしてください。
ロッドアンテナを伸ばさずに視聴する場合は、テレビ放送を受信できないことがあります。

◆メイン画面

メインメニュー画面で「テレビ」ボタンをタッチすると、テレビ放送画面が起動します。初めてテレビ放送を視聴する場合は、自動スキャン後に最初のチャンネル番号のテレビ放送画面が表示されます。



①ナビ

- ・ナビゲーションとテレビの画面がPIPで表示します。
PIP画面時にナビゲーションの画面をタッチすると全画面にナビゲーション画面を表示し、テレビの画面をタッチすると全画面にテレビ画面が表示されます。
※全画面がナビゲーション表示されている場合にテレビ画面を表示させるには、本体のMENUボタンを押して、ナビまたはテレビアイコンをタッチしてください

②スキャン

- ・テレビ放送を見るためには必ずスキャンしなければなりません。このボタンをタッチすると、スキャンした地域で放送されているチャンネルを全て探し出して保存します。
- ・スキャンが完了すると、最初のチャンネルの放送が自動的に開始されます。
- ※中継局や系列局が変わるような別の地域に移動した場合は、再スキャンをすることをお勧めします。

③番組表

- ・現在受信中のチャンネルの番組表を表示します。お好みの番組名をタッチすると、詳しい番組内容を見ることが出来ます。
- 画面右上のをタッチすると番組表を終了し、テレビのメイン画面に戻ります。

④受信モード

- ・タッチする毎に『自動/地デジ/ワンセグ』が切替わります。

⑤設定

- ・各種設定を行います。(P.23)

⑥ページ送り(▼)

- ・チャンネルリストが複数ページにわたる場合、次のページを表示します。

⑦ページ戻し(▲)

- ・チャンネルリストが複数ページにわたる場合、前のページを表示します。

◆画面上部メニューバー



①メニューボタン

- ・メインメニュー画面を表示します。

②放送画質表示

- ・現在の放送画質が表示されます。
SD (Standard Definition) : 標準画質 (ワンセグ)
HD (High Definition) : 高精細度画質 (フルセグ)

③テレビの受信感度レベル

- ・現在受信している放送の受信感度を表示します。
- ・×が表示されていると受信不可の状態、アンテナバーが5本表示されていると受信感度が最大の状態です。

④終了ボタン

- ・テレビ放送を終了します。

◆設定画面



①音声多重

- ・音声多重の第1音声 (言語) と第二音声 (言語) を選択することができます。

②二重音声

- ・主音声/副音声が出ている放送の、音声の種類を選択することができます。
主：主音声のみ聞こえます。
副：副音声のみ聞こえます。
主/副：主音声と副音声の両方が聞こえます。

③字幕

- ・字幕放送視聴時に、画面に字幕表示をするかどうかを選択します。
オン：字幕が表示されます。
※字幕が無い放送では「オン」を選択しても字幕は表示されません。
オフ：字幕は表示されません。

④チャンネル、時計表示

- ・オンにすると、画面上部に現在のチャンネル名と時刻を表示します。
- ※GPS信号やテレビ放送が受信できない場所では正確な時刻が表示されないことがあります。

⑤中継・系列局サーチ

- ・中継局サーチ・系列局サーチ機能のオン/オフを選択します。

■中継・系列局サーチ機能について

本製品には中継局サーチ・系列局サーチ機能を搭載しています。
電波の弱い所や中継局が切替わる場所を走行した場合など、電波を受信できない状態が約30秒間続くと、自動的に中継局サーチを開始します。
中継局サーチを複数回実行後、電波を受信できなかった場合は系列局サーチに切替わります。
いずれの場合も、電波を受信した段階でサーチを終了し、放送画面に戻ります。

⑥代表チャンネル

- ・各チャンネルの、チャンネルリストに表示する方法を選択します。
オン：代表チャンネルのみ表示します。（編成チャンネルが『1』のチャンネル）
オフ：代表チャンネル+編成チャンネル全てを表示します。

⑦B-CASカード

- ・B-CASカードのIDを表示します。
- ※B-CASカード挿入されていないと、フルセグ受信できませんので、ご注意ください。

◆ナビゲーションとテレビとの2画面表示にする方法

- ・ナビゲーション画面の **AV** ボタン → **テレビ** ボタンをタッチすると、ナビゲーションとテレビの2画面表示になります。



- ・テレビ画面の ナビ をタッチするとナビゲーションとテレビの2画面表示になります。(P.22)



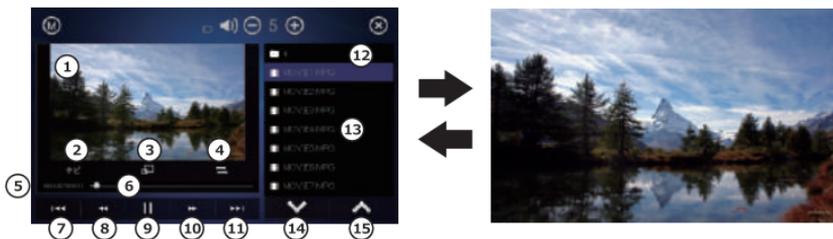
■テレビ放送について

- ・テレビ放送の視聴中に受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが現れる、静止画面・黒画面、音声が中断されるなどの現象が起こる場合があります。
- ・車で移動中に受信する場合は、停止状態での受信に比べて受信可能な領域が狭くなり、受信感度が低下します。
また、車の場所や方向、速度などによって受信状態が変化します。
- ・本機の受信周波数帯域に相当する周波数を利用した無線機などの機器を本機に近づけると、その影響で映像や音声などに異常が発生する場合があります。その場合は機器から離して使用してください。
- ・本機はARIB（電波産業会）規格に基づいて仕様設計されています。
今後ARIB規格が変更される場合には本機の仕様を変更することがあります。
- ・本機はデータ放送、緊急警報放送には対応しておりません。
- ・本機には録画・再生機能はありません。

ビデオ

◆メイン画面

メインメニュー画面で「ビデオ」ボタンをタッチすると、ビデオのメイン画面が起動します。



動画表示画面をタッチすると全画面表示に切替わります。

①動画表示画面

- ・選択した動画ファイルの画面が表示されます。
- ・再生中に画面をタッチするとフル画面になります。もう一度タッチすると元の画面サイズに戻ります。

②ナビボタン

- ・メインメニュー画面に戻ることなく、直接ナビゲーション画面に切替えることができます。（すでにナビゲーション起動中の場合は2画面表示になります。）

③画面比率設定

- ・オリジナルサイズ/ズームを切替えます。

④再生モード

- ・  : リスト内の動画ファイルを順番に再生します。
- ・  : リスト内の動画ファイルをランダムに再生します。

⑤再生経過時間/再生トータル時間

- ・現在再生中の動画ファイルの再生経過時間/再生トータル時間を表示します。

⑥再生位置表示（シークバー）

- ・現在の再生位置を表示します。シークバーの上をタッチすると、シークバーがタッチした位置に移動し、移動した箇所から再生が始まります。

⑦スキップ（-）

- ・1つ前の動画ファイルに移動して再生を始めます。

⑧早戻し

- ・タッチする毎に約10秒戻って再生を始めます。

⑨再生/一時停止

- ・選択した動画ファイルを再生します。再生中は一時停止アイコンに変わります。
- ・一時停止中は再生アイコンに変わり、もう一度タッチするとファイル再生が中断された箇所から再生を始めます。

⑩早送り

- ・タッチする毎に約10秒進んで再生を始めます。

⑪スキップ（+）

- ・1つ後の動画ファイルに移動して再生を始めます。

⑫ 上位フォルダに移動

- ・サブフォルダがある場合、このボタンをタッチすると上位フォルダに移動します。
※最上位フォルダにいる場合はタッチしても反応しません。

⑬ ビデオリスト表示

- ・microSDカードに保存されているファイルをリスト表示します。

⑭ ページ送り

- ・タッチすると1つ後のリストページに切替えます。

⑮ ページ戻し

- ・タッチすると1つ前のリストページに切替えます。

◆ ナビゲーションとビデオとの2画面表示にする方法

- ・ナビゲーションの **AV** ボタン → **ビデオ** ボタンをタッチするとナビゲーションとビデオの2画面表示になります。



- ・ビデオ画面の「ナビ」をタッチするとナビゲーションとビデオの2画面表示になります。



⚠ 注意

- 動画ファイルを再生するためには別売のmicroSDカードを準備してください。
- 動画ファイルの再生には下記の条件が必要です。
 - ・再生可能ファイル：MPEG4(DivX, Xvid)・H.264・MPEG1/2
 - ・サイズ：800×480

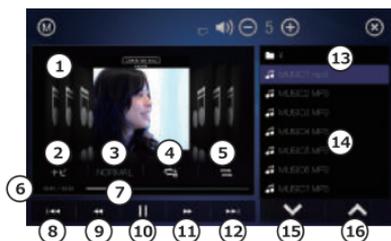
上記の条件に合わせて動画を変換する必要があります。
変換作業を行う際は市販の変換ソフト等をお買い求めください。

※記載のファイル形式であっても正しく再生できない場合があります。
予めご了承ください。

オーディオ

◆メイン画面

- ・メインメニュー画面で「オーディオ」ボタンをタッチすると、オーディオのメイン画面が起動します。



①アルバムジャケット画像表示

- ・再生中の音楽ファイルにアルバムジャケット等の画像が埋め込まれている場合はその画像を表示します。

②ナビボタン

- ・メインメニュー画面に戻ることなく、そのままナビゲーション画面に切替えることができます。
(すでにナビゲーション起動中の場合は2画面表示になります。)

③イコライザ設定

- ・タッチする毎にNORMAL, CLASSIC, POP, ROCK, JAZZ と切替わり、お好みのモードを選択できます。

④リピートモード

- ・ : 1つの音楽ファイルを繰り返し再生します。
- ・ : 全ての音楽ファイルを繰り返し再生します。
- ・ : 繰り返し再生は行いません。

⑤再生モード

- ・ : リスト内の音楽ファイルを順番に再生します。
- ・ : リスト内の音楽ファイルをランダムに再生します。

⑥再生経過時間／再生トータル時間

- ・現在再生中の音楽ファイルの再生経過時間／再生トータル時間を表示します。

⑦再生位置表示 (シークバー)

- ・現在の再生位置を表示します。シークバーの上をタッチすると、シークバーがタッチした位置に移動し、移動した箇所から再生が始まります。

⑧スキップ (-)

- ・1つ前の音楽ファイルに移動して再生を始めます。

⑨早戻し

- ・タッチする毎に約10秒戻って再生を始めます。

⑩再生／一時停止

- ・選択した音楽ファイルを再生します。再生中は一時停止アイコンに変わります。
- ・一時停止中は再生アイコンに変わり、もう一度タッチするとファイル再生が中断された箇所から再生を始めます。

⑪早送り

- ・タッチする毎に約10秒進んで再生を始めます。

⑫スキップ (+)

- ・1つ後の音楽ファイルに移動して再生を始めます。

⑬上位フォルダに移動

- ・サブフォルダがある場合、このボタンをタッチすると上位フォルダに移動します。
※最上位フォルダにいる場合はタッチしても反応しません。

⑭ミュージックリスト表示

- ・microSDカードに保存されているファイルをリスト表示します。

⑮リストダウン

- ・タッチすると1つ後のリストページに切替えます。

⑯リストアップ

- ・タッチすると1つ前のリストページに切替えます。

◆ ナビゲーションとオーディオとの2画面表示にする方法

- ・ナビゲーションの **AV** ボタン → **オーディオ** ボタンをタッチするとナビゲーションとオーディオの2画面表示になります。



- ・オーディオ画面の「ナビ」をタッチするとナビゲーションとオーディオの2画面表示になります。



⚠ 注意

- 音楽ファイルを再生するためには別売のmicroSDカードを準備してください。
- 再生できるファイルはMP2/3・WAV・EAAC+です。
※記載のファイル形式であっても正しく再生できない場合があります。
予めご了承ください。
- 一部のファイルでMP2/3・WAV・EAAC+へ正しく変換できなかった場合に、再生できない、途中で別の曲に変わってしまうなどの現象が起こる場合があります。
この場合はもう一度ファイル変換を行ってから再生してください。
- オーディオを終了させずにナビを実行すると、音楽が流れた状態でナビが動作します。
- この時ナビの音声案内が流れると、サウンドミックス設定がオンの時は自動的にオーディオの音声が小さくなります。サウンドミックス設定がオフの時は自動的にオーディオの音声がミュート状態になります。

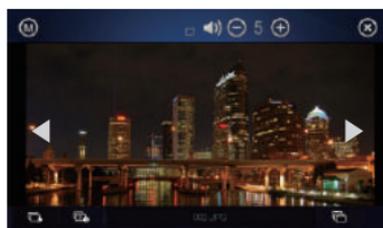
フォト

◆メイン画面

- ・メインメニュー画面で「フォト」ボタンをタッチすると、フォトのメイン画面が起動します。



[フォトのメイン画面]



[フォトのフル画面]

① イメージ表示部

- ・リストで選択したイメージが表示されます。
イメージをタッチするとフル画面でイメージを見ることができます。(P.31)

② 上位フォルダに移動

- ・サブフォルダがある場合、このボタンをタッチすると上位フォルダに移動します。

③ イメージリスト表示部

- ・micro SDカードに保存されているファイルをリスト表示します。

④ スライドショー

- ・タッチすると保存されているイメージが設定した時間間隔で自動的に切替って表示されます。
スライドショーを中断するには画面をタッチしてください。

⑤ スライドショーの時間設定

- ・タッチする毎にスライドショーの時間間隔を3,5,7,10,15秒の中で設定します。

⑥ ページ送り

- ・タッチすると前ページのイメージリストを表示します。

⑦ ページ戻し

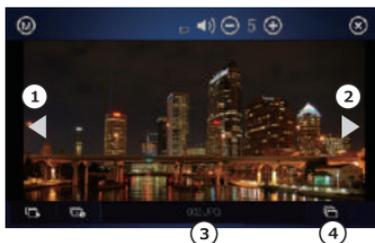
- ・タッチすると次ページのイメージリストを表示します。

⚠ 注意

- イメージファイルを再生するためには別売のmicroSDカードを準備してください。

◆フル画面

- ・メイン画面のサムネイルをタッチすると、フル画面でイメージを見ることができます。



①イメージ戻し

- ・前のイメージを表示します。

②イメージ送り

- ・次のイメージを表示します。

③ファイル名表示

- ・現在表示中のイメージファイルのファイル名を表示します。

④メイン画面表示

- ・フォトのメイン画面に戻ります。

⚠注意

- イメージファイルの再生には下記の条件が必要です。

- ・再生可能ファイル：JPG, PNG, BMP, GIF
- ・サイズ：800×480（推奨）

※再生できる最大ファイルサイズは3600×3600で、これより大きなファイルサイズでは誤作動を招く恐れがありますのでご注意ください。

※記載のファイル形式であっても正しく再生できない場合があります。予めご了承ください。

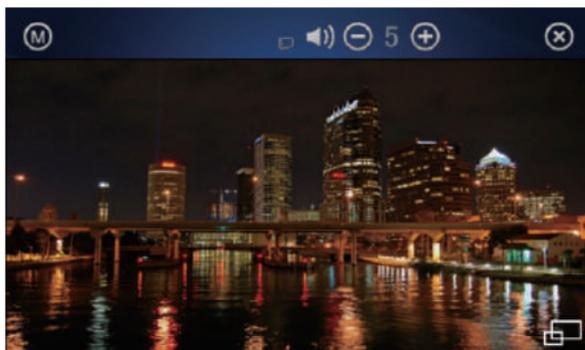
AV IN

◆メイン画面

- ・メインメニュー画面で「AV IN」ボタンをタッチすると、AV INのメイン画面が起動します。

オプションのRCA変換ケーブルを使用し、DVDプレイヤー等を接続することにより、外部モニタとしても使用できます。

※AV IN機能を使用するためには『設定』→『画面』タブ→『入力選択』で『AV IN』を選択してください。



- ・画面比率切換え
画面右下の  アイコンをタッチする毎にオリジナルサイズとズームを交互に切り替えます。

設定

- ・メインメニュー画面で「設定」ボタンをタッチすると、設定画面が起動します。

■ 画面設定画面



① スタートメニュー

- ・電源入力時の初期表示を設定します。

ナビゲーション：ナビゲーション画面を表示します。

メインメニュー：メインメニューを表示します。

最終画面：電源をOFFする直前の画面を表示します。

(ナビゲーション・テレビ・ビデオ・オーディオおよび2画面表示の場合のみ)

② 後方駐車線

- ・オンに設定すると、リアカメラからの映像画面に駐車案内線が表示されます。

③ Rear MIC

- ・リアカメラに音声出力がある時に使う機能です。

注意：音声を出力する機能がないカメラを使うときにRear MICをオンにすると雑音が入る可能性があります。

④ 昼・夜間モード ※本設定は、ナビゲーション画面には反映されませんので、ご注意ください。

- ・画面の明るさを設定します。

オン：設定した時間帯に応じて、明るさを変更することができます。

オフ：時間帯に関係なく、常に設定した明るさになります。

昼間明るさ

- ・昼間モード時の画面の明るさを10段階（0～10）で設定します。

◀ ボタンをタッチすると暗くなり、▶ ボタンをタッチすると明るくなります。

夜間明るさ

- ・夜間モード時の画面の明るさを10段階（0～10）で設定します。

◀ ボタンをタッチすると暗くなり、▶ ボタンをタッチすると明るくなります。

夜間開始時間／夜間終了時間

- ・夜間モードの時間範囲を23段階（0～23）で設定します。

※設定範囲外の時間は昼間モードの時間範囲となります。

※実際の時刻による昼夜切替連動はしません。

⑤ 入力選択

- ・本体側面の『AV IN／REAR CAM』入力端子への入力方法を設定します。

AV IN：AV入力端子として使用します。

REAR CAMERA：リアカメラ端子として使用します。

■ サウンド設定画面



① タッチ音

- ・画面をタッチする際のタッチ音の有無を設定します。

② サウンドミックス

- ・ナビゲーションとワンセグ／オーディオを同時に起動している場合の音声出力方法を設定します。

オン：ナビゲーションの音声案内時、テレビ／ビデオ／オーディオの音声も同時に出力されます。

（テレビ／ビデオ／オーディオの音声は一時的に小さくなります。）

オフ：ナビゲーションの音声案内時、テレビ／ビデオ／オーディオの音声はミュート状態になり、ナビゲーションの音声案内のみが出力されます。

⚠ 注意

- 地域、周波数帯域、機器などにより、電波干渉の影響で正常に使用できない（音声にノイズが入る等）場合があります。

■ バージョン情報画面



① バージョン表示

- ・製品のソフトウェアバージョンを確認できます。
※ イラストは、実際の製品の情報とは異なる場合があります。

② タッチ補正

- ・画面をタッチした部分と実際に反応した部分にズレがある場合はタッチ補正を行ってください。
- ・このボタンをタッチすると、補正確認画面が表示されます。

③ 初期化

- ・全ての設定項目の値を工場出荷時の設定に戻します。

④ アップグレード

- ・システムのアップグレードを行います。
※ アップグレードを行うには専用のmicroSDカード（別途販売予定）が必要です。

リアカメラ（後方カメラ）

■リアカメラ（後方カメラ）の使用

- ・画面設定画面で入力選択を『REAR CAMERA』に設定すると、リアカメラを通じて自車の後方を確認できます。
- ・本機の『REAR CAM』端子にリアカメラを接続し、カメラからの映像信号が入力されると、自動的にカメラ映像の画面に切り替わります。

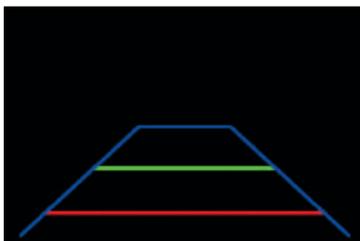


⚠注意

- カメラは本製品には含まれていません。別途ご用意ください。
- 当社指定品もしくは当社純正品以外のものを使用した場合、動作不良および故障が発生しても保証外とさせていただきます。
- カメラの設置は、カメラに添付されている取扱説明書に従って行ってください。

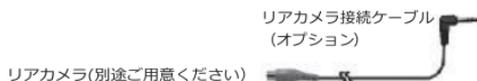
■後方駐車線の使用

- ・後方駐車線をオンに設定すると、リアカメラからの映像画面に駐車案内線が表示されます。



■リアカメラの接続について

リアカメラの映像出力端子とリアカメラ接続ケーブルの映像入力端子を接続し、リアカメラ接続ケーブルのもう一方のミニプラグを本体側面の『REAR CAM』端子に接続します。



故障かなと思ったら

■GPS信号が受信できない

- ・建物の間や高架道路、トンネルなどの場所を避け、空の見える安定した場所で受信を確認してください。

■音楽・動画・フォトが再生できない

- ・本誌に記載されている『再生できるファイル形式』を確認してください。

■スピーカーやイヤホンから音が出ない

- ・スピーカー出力やイヤホン出力設定がオフになっていないか確認してください。
- ・ボリュームのレベルを確認してください。
- ・ミュート状態になっていないか確認してください。
- ・イヤホンの場合はプラグが正しく差込まれているか確認してください。

■画面が暗い

- ・設定メニューで画面の明るさを調整してください。

■画面がフリーズして操作ができない

- ・一旦本体の電源をOFFにし、しばらくしてから電源を入れてください。

■放送が途切れたり、チャンネルスキャンができない

- ・アンテナを立てて受信しやすい方向に移動するか、アンテナの位置を調整してください。

■microSDカードが認識されない

- ・microSDカードが正しく挿入されているか確認してください。
- ・対応しているmicroSDカードはSD・SDHC・SDXCタイプ、最大128GBまでです。それ以外のmicroSDカードは対応していませんので、使用しているmicroSDカードを確認してください。
- ・ファイルシステムがFAT32になっているか確認してください。
- ・microSDカードに異物が付着していないか確認してください。

■microSDカードが抜けない

- ・microSDカードの種類によっては形状精度に問題があり、そのようなカードを使用すると、本機のカードスロットから抜けなくなる場合があります。その際は本体電源を必ずオフにしてからピンセットなどを使用してゆっくりと取出し、そのカードは使用しないでください。

■タッチパネルにタッチしてもうまく動作しない

- ・タッチパネルを爪で触れるようにタッチしたり、十分な力が加えられないと認識しないことがありますので、正確にタッチしてください。
- ・メインメニューから設定画面を起動し、タッチ補正を行ってください。

■電源が入らない

- ・シガー電源アダプターが正しく接続されているか確認してください。
- ・シガー電源アダプターのヒューズが切れていないか確認してください。
- ・接続端子部分に異物が付着していないか確認してください。

■吸着式スタンドがうまく付かない

- ・取付けたい場所の異物を取り除いてください。
- ・吸着式スタンドの吸着面を水できれいに洗い、乾かしてからもう一度取付けてください。

製品仕様

OS	Windows Embedded Compact7
CPU	Cortex-A5 core
SDRAM	8GB
フラッシュメモリ	512MB
SDカード	microSD/microSDHC/microSDXC (最大128GB class10)
ディスプレイ	7インチ液晶 (LEDバックライト、タッチパネル式)
解像度	800×480
スピーカー出力	1.3W(Max)×2、ステレオ
使用電源	DC12~24V ※ 付属のシガーアダプタ使用時
使用温度範囲	0℃~50℃
寸法	184.5(W)×117.5(H)×21(D)mm
本体重量	約365g
GPS	
GPSアンテナ	内蔵型パッチアンテナ
テレビ	
アンテナ	内蔵型ロッドアンテナ/外部アンテナ端子
チャンネル	13ch~62ch
マルチメディア	
ミュージック	MP2/3・WAV・EAAC+
ビデオ	MPEG4(DivX, Xvid)・H.264・MPEG1/2
フォトビューワ	JPG, PNG, BMP, GIF
イヤホン出力	ステレオ出力 (3.5mmピンジャック)
その他	
リアカメラ	NTSC

Regeo

輸入元:株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話…**048-970-5027**

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00 13:00~17:00

<http://www.innovativesale.co.jp/>

2021.01